

ブリックモルタル

レンガ積み工事材／粗面仕上用化粧目地材

プレミアムブリックモルタル

【白華抑制タイプ】粗面仕上用化粧目地材

弾性目地（ジョイント化粧用）

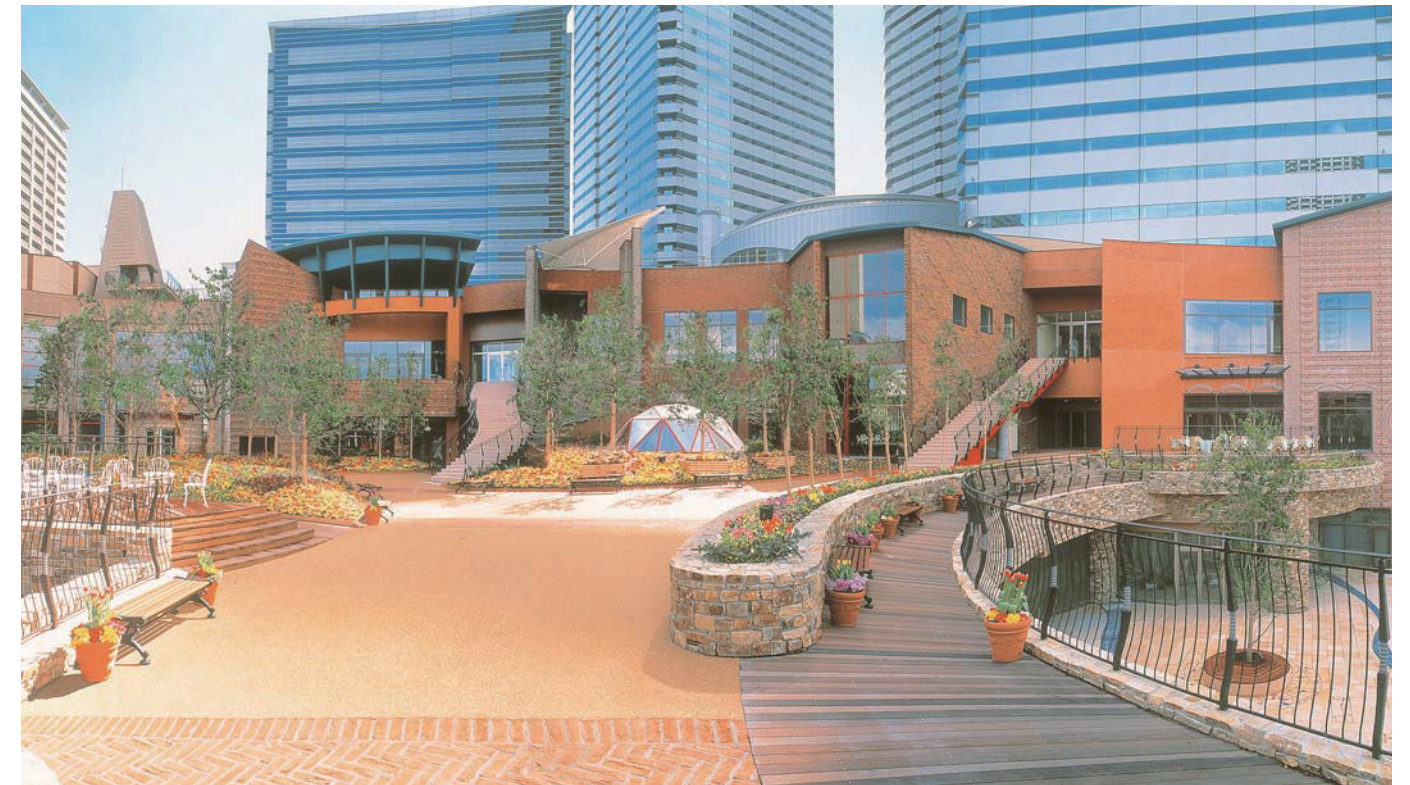
シーリング材化粧材

二瀬窯業株式会社

BRICK MORTAR



QUALITY BRICKWORKS



ESSENTIAL OF QUALITY BRICKWORK

TEXTURES AND PATTERNS



目地幅20mm

DS14



目地幅15mm

DS14



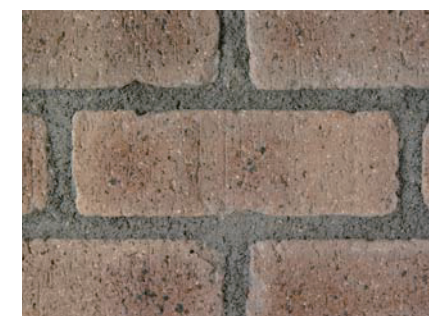
目地幅20mm

DS10



目地幅10mm

DS14



目地幅10mm

DS06

※本イメージは印刷の為、実物とは色調等が異なる場合がございます。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0405017
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用



ブリックモルタル Mタイプ



ブリックモルタル Tタイプ

ブリックモルタル Mタイプ

レンガ積み工事材／粗面仕上用化粧目地材

ブリックモルタル Tタイプ

粗面仕上用化粧目地材

ブリックモルタルは、1983年の発売以来今日まで弛まぬ研究開発を通し今なお進化を続けるプレミックスタイプのレンガ積み工事材／粗面仕上用化粧目地材です。レンガが積めるMタイプ、塗り目地工法に最適化した化粧目地材のTタイプをラインアップして様々な現場仕様に柔軟に対応します。

FEATURES AND BENEFITS

高品質プレミックスモルタル

ブリックモルタルは、結合材や骨材、混和材など全ての原材料を弊社工場にて予め配合した状態で出荷するレンガ積み・目地詰め工事用のプレミックスモルタルです。袋を開け、水を加えて練るだけで高性能かつ作業性の良いモルタルが簡単に準備できますので、現場での無理、ムラ、無駄を効果的に減らします。

柔軟な施工性～選べる2タイプ

レンガ積み工事及び目地詰め工事（一本目地工法向け）が出来るブリックモルタルMタイプと、モザイクユニットタイルへの目地詰め工事（塗り目地工法向け）に最適なブリックモルタルTタイプとの2種類を現場の状況や施工仕様に合わせてお選び頂けます。

白華を抑制し、美観を、施工面を守る

建物の美観を著しく損ねる白華、弊社ではその発生のメカニズムを紐解き、白華の原因となる物質と反応してモルタル表面に発生する白華を抑制する混和材を配合、建物の美観を守ります。また目地材として使用した際は、施工面（張付材）を風雨などから守りタイルの剥落等も抑制します。

豊富な実績ー特注色は少ロットにも対応します

弊社はレンガ工事材料のパイオニアとして数十年の実績があり、全国でご使用頂いております。また、特殊な施工にも柔軟に対応できる技術力とノウハウの蓄積があります。標準色として人気や実績などから選び抜いた10色をご用意しています。また、タイルの色等、お好みの色をご指定頂ければ、特注色として少ロットでも対応いたします。着色材には厳選した無機顔料を使用していますので耐候性が高く長期間に渡って鮮やかな発色が持続します。

環境保全に配慮した製品

関東工場で製造しているブリックモルタルは、天然珪砂に代えて弊社が開発した高性能リサイクル原料(特許取得済)である「高炉水砕スラグ細骨材」を配合した環境配慮型製品です。エコマーク認定を取得しています。

APPLICATIONS

製品シリーズ	ブリックモルタル Mタイプ	ブリックモルタル Tタイプ
特長	適切な骨材配合により、レンガ積み及び8mm以上の目地詰めが出来る材料	モザイクユニットタイルの目地詰め工事向けに調整した化粧目地専用材料
適用部位	内外装壁面、内外装床面	
練り上がり量	約13ℓ	
標準使用量 (レンガ積み施工)	レンガサイズ(100×210×60mm) 目地幅:10mmの場合 約0.5㎡/袋	
標準使用量 (目地詰め施工)	二丁掛タイル(60×227mm) 目地幅:10mm、目地深さ:15mmの場合 約3㎡/袋	50二丁タイル(45×95mm) 目地幅、目地深さ:5mmの場合 約12㎡/袋
適用目地幅	8mm以上	5～10mm程度

COLOURS

本色調は、印刷イメージの為、実物の色調とは異なる場合がございます。
現物サンプルをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

Designers Selection

最新のトレンドに基づいて選んだ人気の色調をセレクト
伝統的な建築にもモダンな建築にもよくあう10色

DS00M オフホワイト	DS00T
DS01M サンドイエロー	DS01T
DS02M アイボリー	DS02T
DS03M グレイッシュブラウン	DS03T
DS04M カプチーノブラウン	DS04T
DS06M アースブラウン	DS06T
DS07M ホワイト	DS07T
DS08M グレイ	DS08T
DS09M ダークグレイ	DS09T
DS10M ブラック	DS10T

BRICK MORTAR

Quality premixed mortar for quality brick buildings



CAUTION

ブリックモルタルは、安全に正しくお使いください。
※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

施工前には必ず施工要領書、安全データシート等をよく読んで注意
安全を十分に理解した後に施工を行ってください。

ブリックモルタルMタイプ／ブリックモルタルTタイプの品質保持
期間は製造後約6ヶ月です。

ブリックモルタルTタイプでは、レンガ積み施工は出来ません。

●施工上の注意事項

- ・目地詰め後、酸洗いの濃度は、工業用塩酸2%以下を厳守してください。
濃度が濃いとノロ分が流れてしまい仕上がりが悪くなります。
- ・ブリックモルタルMタイプを塗り目地工法では施工しないでください。スポンジ仕上げ拭き後に骨材が偏って露出してしまい仕上がりが悪くなります。
- ・寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないでください。
- ・レンガ積み工事に際して、レンガは施工前に必ず浸水養生を行ってください。
- ・目地詰め工事に際しては、タイル張付け後、十分な養生期間を確保してください。
- ・混練水の他、弊社が指定した材料以外との混合・混練はしないでください。
- ・強度などモルタルの物性に悪影響を及ぼすため、水を加えて練り直しをしないでください。
- ・色調を一定に保つため、水量の管理は厳密に行ってください。
- ・色調が変化する事がありますので、練り足しは行わないでください。
- ・固まった材料の使用は避けてください。
- ・開封後の材料は、使い切ってください。
- ・使用後の道具、工具類は速やかに水洗いしてください。
- ・タイル・レンガ等の材質や表面の仕上げ等によっては、材料がタイルの表面に付着したまま乾燥すると、材料が取れにくくなる事があります。

●取扱い上の注意事項

- ・取扱いには、適切な保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用してください。
- ・取扱い後は、顔、手、口等は、清浄な水で洗浄してください。
- ・衣類に付着したものは、取れない時がありますので十分に注意してください。

●安全上の注意事項(応急処置)

- ・目に入った場合は、速やかに多量の清浄水で洗浄し、状況に応じ眼科医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合は、付着した部分を石けんで洗い流した後、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- ・吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに空気の新鮮な場所へ移動してうがい等を行ってください。気分が優れない場合は、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

●輸送上の注意事項

- ・紙袋であるため、荷積み注意到意し荷崩れ防止等に配慮してください。
- ・紙袋であるため、降雨等の水漏れ防止に配慮してください。

●漏出時の注意事項

- ・飛散した粉末は、掃除機等で吸い取って回収してください。

●廃棄上の注意事項

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。

製品資料・SDS等は別途ご請求ください

【ご留意ください】

配合する骨材の性質上、施工後に骨材の色調が変化することによって当初の色調から差異が生じる場合があります。予めご了承頂きます様、お願い申し上げます。

施工手順

※実際の施工にあたっては、事前に仕様・工法を確認し、施工監理者とよく打ち合わせのうえ、施工を行ってください。

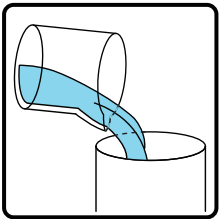
製品シリーズと適用工法

	ブリックモルタル Mタイプ	ブリックモルタル Tタイプ
レンガ積み施工	○	×
一本目地工法	○	○
塗り目地工法	×	○

材料の混練

ブリックモルタル Mタイプ

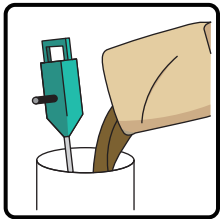
ブリックモルタル Tタイプ



標準練水量

ブリックモルタル Mタイプ
3.0 ～ 3.4ℓ

ブリックモルタル Tタイプ
4.0 ～ 4.5ℓ



材料を徐々に加えてモルタル用かくはん機等でダマの残らないようによく混練してください。

レンガ積み施工要領

※ブリックモルタルTタイプでは、レンガ積み施工は出来ません。

ブリックモルタル Mタイプ



1.レンガ積み

- (1) 積み上げ部の下地を清掃する。
- (2) 設計図書に従い、墨出し、水糸張りを行う。
- (3) 引き金物を使用する場合は、その仕様・配置など設計図書に従う。
- (4) 積み上げ部の下地に水湿しを行い、表面水が引いた程度でブリックモルタルを敷き均す。
敷きモルタルはレンガを水系の位置に合わせて圧着した時、レンガ表面からはみ出すように塗厚を整える。
- (5) 基準レンガを敷きモルタルの上に載せる。
- (6) コテの柄でレンガを叩きながら水系に合わせて位置決めを行う。はみ出した目地モルタルは直ぐには目地切りを行わず、やや締まった状態で行う。目地切りを行ったあとの表面にも締まりのあるタイミングがよい。

- (7) レンガの側面（片側）に縦目地となるブリックモルタルを塗り付ける。
- (8) 縦目地を塗り付けたレンガを敷きモルタルの上に載せ、小幅にずらしながら基準レンガの側面と縦目地モルタルを隙間のないように密着させる。
- (9) コテの柄でレンガを叩きながら縦目地を設計幅に調整しつつ、高さを水系の位置に合わせる。
- (10) 前述(6)～(8)を繰り返し1段目を水平に積み進める。
- (11) 2段目以降の施工は、前述までの要領と同様に行う。水湿しについては、当日、水から揚げて積み上げたレンガには必要ないが、前日までに積み上げた既設レンガについては左官刷毛などで敷き均し面に水湿しを施す。
- (12) 1日の積み上げは5～6段までとする。（下地の目地モルタルがつぶれない高さ）
- (13) モルタルを裏込めする場合は、目地モルタルの締まり具合を考慮しながら詰める。



2.目地仕上げ

- (1) レンガの積み上げ時、はみ出した目地モルタルがやや締まった状態になったらコテを使用してモルタルを切り落としレンガと目地の表面とを合わせる。目地切りを行ったあとの表面にも締まりのある状態がよい。積み上げ中に適宜締まり具合を確認しながら行う。切り落とした表面が水分の多い状態であると、白華現象の原因になるため注意する。
- (2) スポンジに水を含ませた後、固くしぼってレンガに付着したモルタルを拭き取る。
目地モルタルに極力水を吸わせないように注意する。
- (3) 仕上げ
 - ① 目地モルタルがやや締まった状態を見計らい、硬めのホウキやブラシなどで目地の方向に沿って表面を薄く削り取るように掃き均す。削った時にブラシ等にモルタルが貼り付かないタイミングが良い。
 - ② 周辺に付着したモルタルを刷毛ではき落とす。染みついた場合はスポンジに水を含ませた後、固くしぼって拭き取る。この時目地モルタルを濡らさないように注意する。

3.養生

- (1) 施工後、シート掛けなどの養生を講じ、水濡れや凍結などから保護できる処置を施す。

目地詰め施工要領－ 1本目地工法

ブリックモルタル Mタイプ

ブリックモルタル Tタイプ



1.目地詰め

- (1) ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行う。
- (2) 目地詰め用のチューブ袋に練り混ぜたブリックモルタルを詰め込む。
- (3) 目地部に沿って絞り出すようにして充填する。仕上げ面より若干厚く付けておく。
- (4) 乾燥具合を見計らい、硬めのホウキやブラシなどで目地の方向に沿って表面を薄く削り取るように掃き均す。削った時にブラシ等にモルタルが貼り付かないタイミングが良い。
- (5) タイルに付着したモルタルは、軟らかいうちに水を固く絞ったスポンジで除去する。このとき、充填したモルタルが濡れないように注意する。

2.養生

- (1) 施工後、シート掛けなどの養生を講じ、水濡れや凍結などから保護できる処置を施す。

目地詰め施工要領－ 塗り目地工法

※ブリックモルタルMタイプでは、塗り目地工法で施工は出来ません。

ブリックモルタル Tタイプ



1.目地詰め

- (1) ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行う。
- (2) 練り混ぜたブリックモルタルを、ゴムコテでタイル面から押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填する。
- (3) 目地詰め後、乾燥具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイルの表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻す。
- (4) スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜に拭き取る。
- (5) 汚れたスポンジは水洗いを行い、(4)の拭き取りを繰り返す。
- (6) 拭き取り後に目地表面に浮き水が残存していると色ムラの原因になるので、浮き水が残らないように注意する。
- (7) 場所によって拭き取るタイミングに差が出ると、色ムラのでる恐れがあるので注意する。

2.養生

- (1) 施工後、シート掛けなどの養生を講じ、水濡れや凍結などから保護できる処置を施す。



プレミアム ブリックモルタル

【白華抑制タイプ】粗面仕上用化粧目地材

一本目地用
塗り目地用



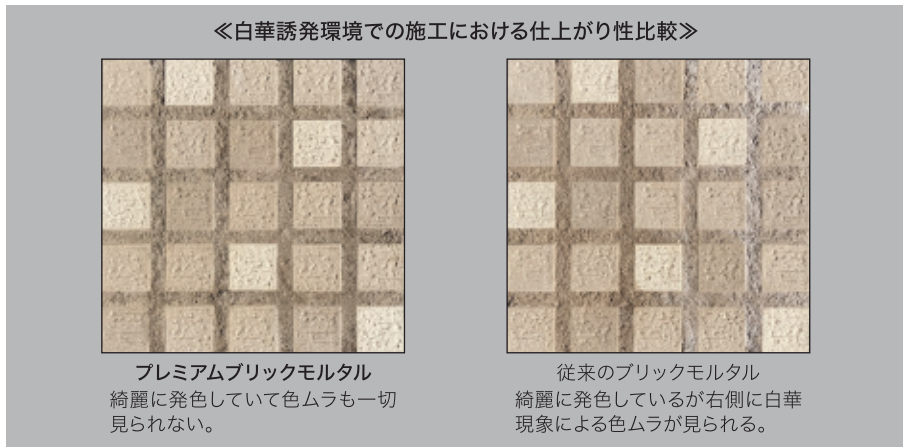
プレミアムブリックモルタル
(20kg紙袋)

プレミアムブリックモルタルは、白華現象を研究し白華の原因となる物質を極限まで発生させないように原料を厳選、配合を調整した白華抑制タイプの粗面仕上用化粧目地材です。従来のセメント系材料では難しかった弾性ボンド工法向けの化粧目地材としても使用できます。

FEATURES AND BENEFITS

1. 白華を徹底的に抑制することでムラのない美しい発色を実現

白華現象についてこれまで以上に研究し、白華発生メカニズムを徹底的に解析。その解析結果を基に「どうしたら白華しないのか」を具体的な配合に落とし込む為に試行錯誤を重ね、原材料の徹底的な見直しも併せて追求することで白華現象の抑え込みに成功、施工面積や季節を問わず常に美しい発色の目地が見られます。



2. 高品質プレミックスモルタル

結合材や骨材、混和材など全ての原材料を弊社工場にて予め配合した状態で出荷する目地詰め工事用のプレミックスモルタルです。袋を開け、水を加えて練るだけで高性能かつ作業性の良いモルタルが簡単に準備できますので、現場での無理、ムラ、無駄を効果的に減らします。

3. タイル寸法に合わせて選べる2タイプ

施工するタイルに合わせて二丁掛タイルやスライスレンガ向け**一本目地用(目地幅:8mm以上)**と、モザイクタイル向け**塗り目地用(目地幅:5~10mm程度)**の2タイプを準備しています。
※プレミアムブリックモルタルは化粧目地専用材料です。

4. エコマーク認定製品

環境に配慮したエコマーク認定製品です。使用するだけで(エコマーク認定のない)従来製品に比して環境負荷を低減することが出来ます。

APPLICATIONS

製品シリーズ	プレミアムブリックモルタル 一本目地用	プレミアムブリックモルタル 塗り目地用
適用部位	内外装壁面	
練りあがり量	約10.9ℓ	
標準使用量	二丁掛タイル(60×227mm) 目地幅:10mm、目地深さ:15mmの場合 約3.6㎡/袋	50二丁タイル(45×95mm) 目地幅:5mm、目地深さ:5mmの場合 約13.5㎡/袋
適用目地幅	8mm以上	5~10mm程度
適用工法	一本目地工法	塗り目地工法



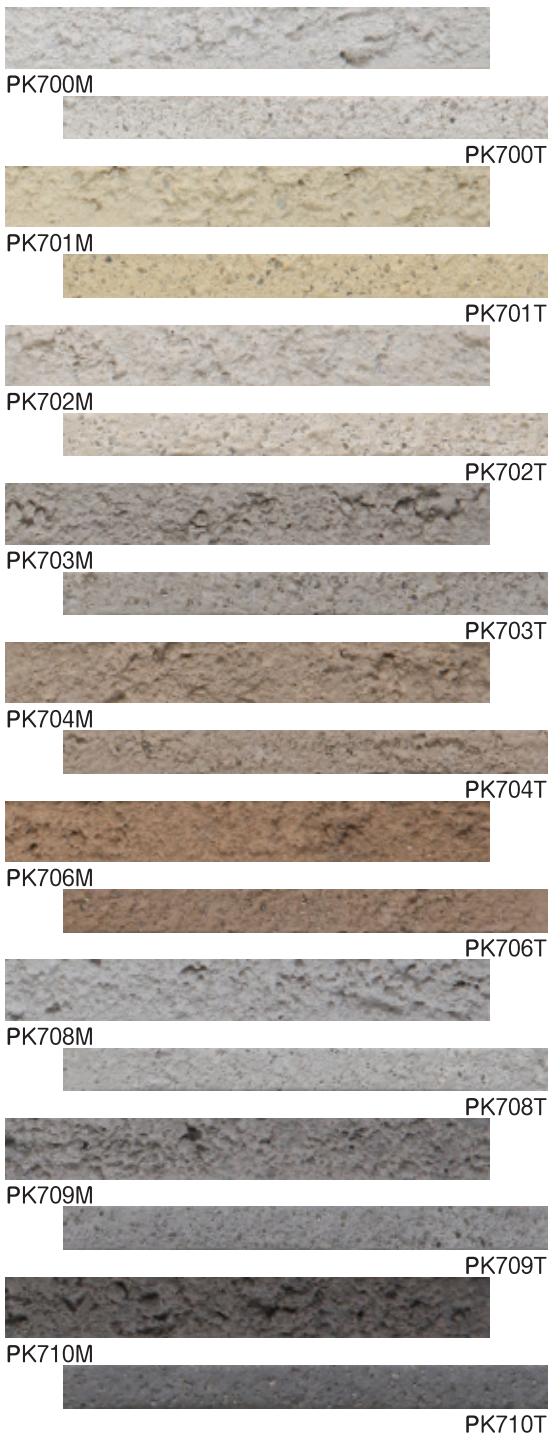
プレミアムブリックモルタル

PREMIUM BRICK MORTAR

COLOURS

本色調は、印刷イメージの為、実物の色調とは異なる場合がございます。
現物サンプルをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

※色調はブリックモルタルの色調と互換性があります。



ご用命の際は、製品名に加えて色番号を正確にお知らせください。
品番末尾に「M」が付いたものが **一本目地用** です。
品番末尾に「T」が付いたものが **塗り目地用** です。



CAUTION

プレミアムブリックモルタルは、安全に正しくお使いください。
※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

施工前には必ず施工要領書、安全データシート等をよく読んで注意
安全を十分に理解した後に施工を行ってください。
プレミアムブリックモルタルの品質保持期間は製造後約3ヶ月です。
プレミアムブリックモルタルでは、レンガ積み施工は出来ません。

●施工上の注意事項

1. 施工前に補修面を十分に水洗・清掃してください。
2. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
3. 直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行ってください。
4. プレミアムブリックモルタルの保管は、湿気・通風を避ける場所にしてください。
5. 固まったものの使用は避けてください。
6. プレミアムブリックモルタルには練水その他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
7. プレミアムブリックモルタル硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意してください。
8. プレミアムブリックモルタルは白華現象が極力発生しないよう配合していますが、条件がそろえばやむなく発生してしまうこともございます。まずは、以下の事項に十分留意して施工を行ってください。
 - ・指定水量より多量の水を混入しないでください。
 - ・固くなったモルタルへの再加水は行わないでください。
 - ・仕上げるタイミングに十分注意してください。
 - ・目地仕上げ時に水を使用しないでください。(タイル汚れの拭き取り以外)
 - ・施工直後に水濡れがないようシートなどで保護してください。目地が硬化する前に長時間水に触れ続けると二次白華の可能性がありますので、夏期1日以内、冬期3日以内は水濡れがないようにしてください。
9. 希釈濃度が高い工業用塩酸を使用したり、酸洗いをしすぎると、目地表面に骨材が出て、色ムラになる場合があります。

●取扱い上の注意事項

- ・取扱いには、適切な保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- ・取扱い後は、顔、手、口等は、清浄な水で洗浄してください。
- ・衣類に付着したものは、取れない場合がありますので十分に注意してください。

●安全上の注意事項(応急処置)

- ・目に入った場合は、速やかに多量の清浄水で洗浄し、状況に応じ眼科医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合は、付着した部分を石けんで洗い流した後、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- ・吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに空気の新鮮な場所へ移動してうがい等を行ってください。気分が優れない場合は、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

●輸送上の注意事項

- ・紙袋であるため、荷積み注意到荷崩れ防止等に配慮してください。
- ・紙袋であるため、降雨等の水漏れ防止に配慮してください。

●漏出時の注意事項

- ・飛散した粉末は、掃除機等で吸い取って回収してください。

●廃棄上の注意事項

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。

製品資料・SDS等は別途ご請求ください



プレミアムブリックモルタル

PREMIUM BRICK MORTAR

施工方法

※施工について詳しくは施工要領書をご覧ください。

一本目地用 (Mタイプ)

一本目地工法(チューブ詰め)

① ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行ってください。

② モルタル用かくはん機等を使用して、以下の割合でよく混練してください。練り混ぜたモルタルは40分以内に使用してください。



③ 目地詰め用のチューブ袋に練り混ぜたブリックモルタルを詰め込んでください。
チューブに満量詰めると吐出しにくくなるため、適度な量を見計らってください。

④ 目地部に沿って絞り出すようにして充填してください。
仕上げ面より若干厚く付けてください。

⑤ 乾燥具合を見計らい、硬めのホウキやブラシなどで目地の方向に沿って表面を薄く削り取るように掃き均してください。削った時にブラシ等にモルタルが貼り付かないタイミングが頃合です。

⑥ タイルに付着したモルタルは、早いうちに水を固く絞ったスポンジで除去してください。(充填したモルタルが濡れないように注意してください。白華の原因になります。)

⑦ 施工後は風雨にさらされないようシート掛けなどの養生を施してください。
※施工後、目地が硬化する前に雨などによって長時間水に触れると、二次白華する可能性があります。

塗り目地用 (Tタイプ)

目地詰め(塗りこみ目地)

① ドライアウト防止のため必要に応じて目地部に水湿しを行ってください。

② モルタル用かくはん機等を使用して、以下の割合でよく混練してください。練り混ぜたモルタルは40分以内に使用してください。



③ 練り混ぜた材料を、ゴムコテで押さえるように目地部に塗り込み、目地内部に空隙が残らないよう繰り返し充填してください。

④ レンガ(タイル)汚れの拭き取りは乾燥具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、レンガ(タイル)表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻してください。

⑤ スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜めに拭き取ってください。

⑥ 汚れたスポンジは水洗いを行い、固く絞って⑤の拭き取りを繰り返してください。

《注意》

- ・拭き取り後に目地表面に浮き水が残存していると色ムラの原因になりますので、浮き水が残らないようご注意ください。(拭き取り時のスポンジの水分に注意してください。)
- ・場所によって拭き取るタイミングに差がでると、色ムラのでる恐れがありますのでご注意ください。

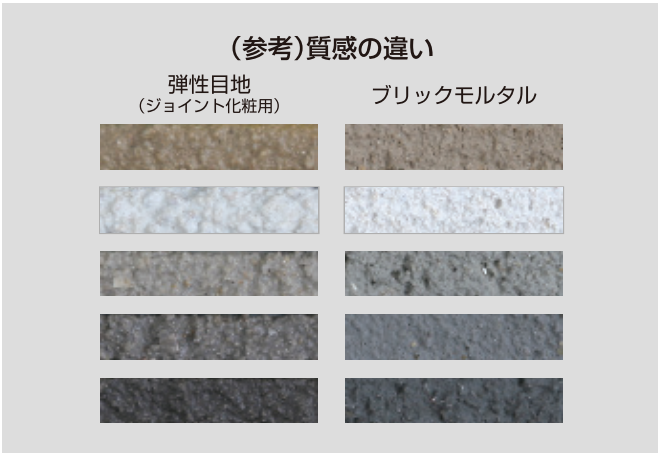
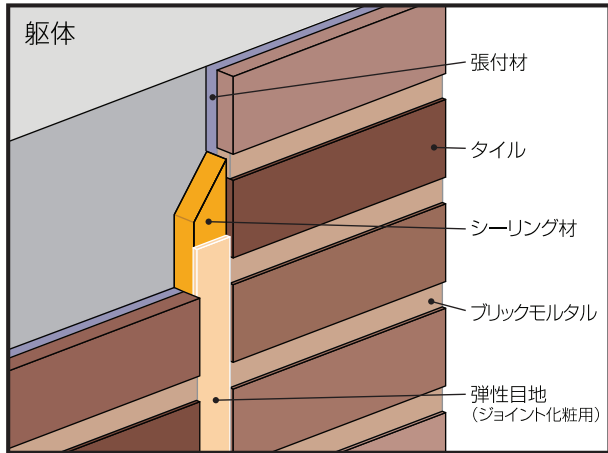
⑦ 施工後は風雨にさらされないようシート掛けなどの養生を施してください。

※施工後、目地が硬化する前に雨などによって長時間水に触れると、二次白華する可能性があります。

弾性目地 (ジョイント化粧用) 伸縮調整目地用シーリング材の化粧目地材

本材料はシーリング材ではありません

弾性目地(ジョイント化粧用)は、「ブリックモルタル」に準じた色調・風合いを有する特殊樹脂を結合材とした化粧目地材です。タイル・レンガ建築の仕上げにおいて伸縮調整目地を設ける場合、施工するシーリング材の上から弾性目地(ジョイント化粧用)を塗付けることにより伸縮調整目地部とブリックモルタルで施工した化粧目地部との色調・風合いを合わせる事で壁面の意匠を統一し、タイル・レンガ建築の付加価値を高めます。



荷 姿



3.5kgセット

(粉 体：2.5kgアルミバッグ)
(専用樹脂：1kgアルミバッグ)

標準施工面積

目地幅10mm、目地深さ5mmの場合

約20㎡

製品タイプ

・弾性目地(ジョイント化粧用)は施工するブリックモルタルのタイプに合わせてご用意ください。

製品タイプ	対応する弾性目地(ジョイント化粧用)
ブリックモルタル Mタイプ	弾性目地 Mタイプ
ブリックモルタル Tタイプ	弾性目地 Tタイプ

ご注文の際は漏れなくタイプまでご指定ください。

ブリックモルタルDS03Mに対応する弾性目地は弾性目地DS03Mです。色番号の後に付く「M」や「T」までご指定ください。

施工方法

※詳しくは施工要領書をご請求ください。

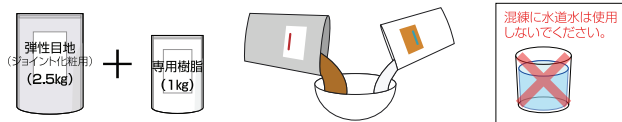
① 施工前準備

1. 本材料は伸縮調整目地材ではありませんので、必ず伸縮調整目地材(シーリング材)を規定される寸法で充填し、硬化させてください。
2. 本材料の充填部に隣接するタイル・レンガの表面、その他要所にマスキングを施してください。本材料は付着すると汚れの除去が困難になりますので十分ご注意ください。
3. 直射日光、強風を受けないようシート掛け等によって施工面を保護してください。
4. 施工前に下地となるシーリング材表面を十分に乾燥させてください。

② 材料の混練

1. 本材料1袋(2.5kg)と専用樹脂1袋(1kg)とを大きめのボウルなどの容器で大きめのサジなどを用いて十分に混合してください。練り混ぜた材料は20分以内にご使用ください。

※本材料は水道水(練り水)を加えて混練しないでください。



まとめて混練する場合は、モルタル用かくはん機を用いてください。

③ 目地詰め

1. 練り混ぜた本材料を「目地詰め用のチューブ」もしくは「コーキングガン(カートリッジ)」に充填し、目地部に沿ってシール材表面に良く密着するようにしぼり出してください。
2. 材料の表面が乾燥する前にヘラで表面を均してください。
3. 硬化前にマスキングを除去してください。

④ 養生

1. 施工後2日間はシート保護を行なってください。白く変色する恐れがある為、洗水等の付着も受けまいよう十分注意してください。

注意事項

- ・弾性目地(ジョイント化粧用)は、結合材に特殊樹脂を使用しますので硬化しても表面に光沢が残り、同じ色番号のブリックモルタルと全く同じ質感・色調にはなりません。その為、施工前には必ずモックアップ等で質感や色調をご確認のうえご使用ください。
- ・弾性目地(ジョイント化粧用)は、完全受注製品ですので、ご注文からお納めするまで多少お時間を頂くことがございます。あらかじめご了承くださいませ、お願い致します。

関連資材 色ムラになりにくい化粧目地材～弾性ボンドの化粧目地材としても最適



プレミアム目地セメント

20kg紙袋

【白華抑制タイプ】化粧目地材 | F☆☆☆☆

適用部位	内外装壁面、内外装床面	練りあがり量	約13.2ℓ
適用目地幅	4～15mm(※)	標準使用量	50角(50二丁)タイル 約11(14)㎡/袋
推奨目地幅例	モザイクタイル(4～5mm)、小口平タイル・二丁掛タイル(8～10mm) 床タイル(6～10mm)		
適用工法	塗り込み目地工法、1本目地工法(チューブ詰め工法)		

※目地幅が10mmを超える場合は押さえ仕上げを行ってください。

色 調

PM101 灰

PM102 濃灰

PM103 黒

当社はCSR活動に取り組んでいます



公益財団法人
日本児童養護施設財団

二瀬窯業株式会社は
公益財団法人日本児童養護施設財団に
寄付を行いました



詳しくはWEBで



ISO 14001取得企業



二瀬窯業株式会社

<https://futaseyogyo.co.jp/>

本 社・工 場	福岡県飯塚市横田669 〒820-0044 TEL 0948-22-0447 FAX 0948-29-0289
関 東 工 場	千葉県木更津市新港15-8 〒292-0836 TEL 0438-30-7372 FAX 0438-30-7472
福 岡 営 業 所	福岡県飯塚市横田669 〒820-0044 TEL 0948-22-0447 FAX 0948-29-0289
東 京 営 業 所	東京都港区芝2-27-8 マスマンビル2F 〒105-0014 TEL 03-6453-6685 FAX 03-6453-6686
名古屋営業所	愛知県清須市西枇杷島町弁天45 ヤマモリビル1F 〒452-0006 TEL 052-509-2485 FAX 052-509-2486
大 阪 営 業 所	大阪府大阪市港市区岡元町2-8-18 ワールドビル2F 〒552-0002 TEL 06-6583-3310 FAX 06-6583-3325